

令和元年度 共同募金一般公募事業 助成決定団体一覧

No.	団体名	事業内容	事業目的・期待できる効果	実施回数	参加延べ人数	助成金額	助成実績(連続)
1	いつついし自治会	『三世代交流 餅つき&ゲーム会』 地域の子どもたちや高齢者などの三世代交流事業として、餅つきとゲーム大会を開催する。	事業を通して住民同士の交流を深める機会とする。また地域の概要や状況確認ができる場ともなりうる。	1回	200名	60,000円	10年
2	井波地区 老人クラブ連合会	『異世代交流事業(保育園児との交流)』 年4回、保育園児と野菜づくりや史跡めぐり、カローリング教室、餅つき交流を行う。	異世代間の交流を通し、地域の活性化を図る。また、町の歴史を学ぶことでふるさとへの愛着心を育む。	4回	300名	50,000円	10年
3	福光「福祉のつどい」 実行委員会	『第20回 福光福祉のつどい』 ボランティア団体の紹介や健康相談、災害時炊き出し訓練、障がい疑似体験などのイベントを開催する。	住民に広くボランティアの活動を知ってもらうことで、ボランティアの推進を図る。また体験コーナーを通して福祉の心の啓発を図る。	1回	450名	150,000円	10年
4	歳末芸能チャリティショー 実行委員会	『第33回 福光歳末芸能チャリティショー』 民謡や踊り等のボランティア団体による活動発表を行い、地域住民のふれあいの場としてひとときを楽しんでもらう。	住民へ福祉に対する理解と協力を求め、お互いを思いやる「助け合い運動」の一環としてボランティアの輪を広げるとともに、地域福祉の推進を図る。	1回	600名	100,000円	10年
5	いたずら一ず	『わくわくめざせ 遊び名人になろう』 異年齢の子どもたちが集まり、けん玉や鬼ごっこなどを通して遊びの経験を深めていく。また、遊びの大切さを子どもたちの視点でまとめたパンフレット作りを行い、地域へ発信していく。	活動を通して、子どもたちの居場所をつくり、自主性や創造性、コミュニケーション能力、自己肯定感を養う。また親子で参加することで、子どもの育ちに大切なことを考える親の学び場をつくる。	7回	140名	70,000円	9年
6	福祉作業所 フレンドハウス福光	『ふれ愛もちつき大会』 作業所を利用している障がい者と地域の高齢者の交流行事として、もちつき大会を開催する。	地域住民との交流を通して、障がいに対する関心を持ってもらい、親睦を深める。	1回	100名	50,000円	9年
7	福野小学校 父母と教師の会	『地域ふれあい 学級対抗ドッジボール大会』 父母と教師の会の全体事業として、ドッジボール大会を開催する。	夏休み期間中、各地区ごとに練習を行い、児童、父兄、地域住民の交流を深めるとともに、小学生の基礎体力の向上を図る。	1回	1,000名	50,000円	8年
8	多機能型事業所 花椿かがやき	『夏:臨床美術を楽しもう! 冬:作品づくり&みんなで餅つき』 地区の子どもたちと、作業所を利用している障がい者を対象に、作品づくりや体験教室を開催する。	地域住民と障がい者が交流し、互いの理解を深める機会とする。また、楽しい時間を共有することで、地域にはいろいろな人が暮らしていることを学び、ともに生きていることを実感できる場とする。	2回	70名	41,000円	8年
9	柴田屋児童クラブ	『クリスマス会2019』 パルーンアート教室やアトラクションを行い、子どもたちが見たり体験したりできる楽しい会を開催する。	イベントを通して、子どもたちの友情を深め、日頃体験できないような感動と記憶に残る時間を過ごす。	1回	62名	50,000円	7年
10	山田地区 社会福祉協議会	『山田地区 三世代クリスマスのつどい』 子どもから高齢者まで幅広い年代の地区住民を対象に、軽スポーツなどを通じた交流イベントを開催する。	交わる機会の少ない異世代がスポーツや遊びを通して親睦を深めることで、地区のつながり強化を図る。	1回	100名	70,000円	5年
11	Smiley Tomorrow	『へえ〜、ふ〜ん、なるほど。それだけでいいがです。—いろいろな人々の社会—』 人々の多様性をテーマにパフォーマンスイベントや展示会を開催する。	依存症や見た目問題、悩みを抱える人たちの居場所への理解啓発を図り、「誰もが自分らしい生き方を楽しめる世の中を目指す」気持ちの共有を図る。	1回	150名	150,000円	2年
12	山野地区 社会福祉協議会	『三世代交流』 地区の各種団体が一体となり、餅つきやゲームなどの三世代交流会を開催する。	普段交流の少ない異世代が一緒に交流することで、「知らない人」から「知っている人」になり、行事以外でも声かけや助け合いが推進されていくことを目指す。	1回	180名	140,000円	2年
13	しあわせ電話グループ	『第15回しあわせ電話交流会』 一人暮らし高齢者を対象に、年間を通して定期的に電話による声かけや安否確認を行っている。その対象者との交流会を開催する。	高齢者とボランティアスタッフがお互いに顔を合わせて交流することで、信頼関係をさらに深め、生きがいと健康づくり推進、孤独感の解消を図る。	1回	25名	40,000円	2年
14	にほんご広場なんと	『言葉のバリアを解消しよう』 誰でも参加できる物づくり教室や外国料理教室を開催する。また、開催時に「やさしい日本語」のミニ講座も併せて実施する。	外国人住民との交流の場や多国文化に触れる機会を創出することにより、多文化社会への関心を高めることができる。また、お互いのつながりを作ることで、双方の安心安全な地域づくりを進めていく。	3回	40名	96,200円	2年
15	ピアサポートあい	『たびかわ新春の集い』 旅川福祉交流館の利用者と季節の行事であるもちつきを行う。	となみ青年会議所や地域のボランティアも交えて開催することで、地域での障がい福祉の理解を深める。	1回	70名	50,000円	2年
16	なんと共同作業所	『たびかわ納涼祭』 旅川福祉交流館の利用者および家族、地域住民を対象に納涼祭を開催する。	納涼祭を通して、地域住民に気軽に立ち寄ってもらえるような機会を作り、施設や障がい者への理解を深める。また、利用者がイベントに参加することで、自己表現の場をもつことができ、社会参加への足掛かりとなる。	1回	100名	150,000円	2年
17	井波地域づくり協議会	『健康寿命を延ばし元気な高齢者が住む街づくりを進めるための研修・体験会』 要介護認定を受けなくてもよい人生を過ごせるような仕組みを構築するための研修・体験会を開催する。	地区内でサロンの有効性を広め、活動の活性化を図る。また、将来的には、全町内会での週一サロンの開催を目指す。	1回	70名	130,000円	1年
18	どんぐりなかま	『親子でつなぐ地域のサークル活動』 福光地域を中心とした親子、学生、地域住民を対象にふれあい活動を行う。	季節のイベントや地域での活動を通して、保育園や学校のつながりに限定しない、多様な人たちとのつながりを持つことへの一助を担う。	9回	225名	56,000円	1年
助成額計						1,443,200	